

さがけ「未来材料」領域 2期生 成果報告シンポジウム

日時

2026年3月11日(水) 10:00～17:35

会場

日本科学未来館 未来館ホール(7階)

概要

さがけ「未来材料」領域の成果報告会を開催いたします。本さがけ研究領域は、2021年10月に立ち上がり、元素の複合化による「多元素化」、元素の配置制御等による材料システムとしての「機能複合化」、非平衡状態や速度論的制御を利用する「準安定相」の活用等の視点で、夢のある材料・プロセス研究を目指しています。今回のシンポジウムでは、2期生として2022年度に採択された課題の研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。皆様のご参加をお待ちしております。

定員

200名

参加費

無料

お申し込みはこちらから

https://form2.jst.go.jp/s/Future_Materials_260311



主催



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構
さがけ「未来材料」領域担当
E-mail: miraizairyo@jst.go.jp

戦略研究推進部

プログラム

開始時刻		終了時刻	時間	座長	報告者	項目
9:30	～	10:00	0:40	受付 9:55までに着席ください		
10:00	～	10:05	0:05	諸連絡		
10:05	～	10:15	0:10	シンポジウム開会挨拶(陰山総括)		
10:15	～	10:45	0:30	猪熊泰英	藤野智子 横浜国立大学	異種混合配列オリゴマーによる超高伝導性材料の創製
10:45	～	11:15	0:30		橋本英樹 工学院大学	高度な構造秩序を内包する酸化物ガラスの創製
11:15	～	11:30	0:15	休憩		
11:30	～	12:00	0:30	梅津理恵	高田尚記 名古屋大学	金属3Dプリンタを用いた非平衡組織・準安定相の創出
12:00	～	12:30	0:30		伊藤佑介 東京大学	圧力・温度場の時空間的局在化によるメカノケミストリーの開拓
12:30	～	13:40	1:10	昼食		
13:40	～	14:10	0:30	楊井伸浩	相馬拓人 東北大学	強相関窒化物薄膜の創製
14:10	～	14:40	0:30		新津甲大 物質・材料研究機構	欠陥内局所物性を活かしたバルク力学機能探索
14:40	～	14:55	0:15	休憩		
14:55	～	15:25	0:30	藪内直明	山内幸正 九州大学	アルカリ水光分解を促進する分子性触媒の創製と制御
15:25	～	15:55	0:30		八木亜樹子 名古屋大学	新奇ダイヤモンド構造体の創製
15:55	～	16:10	0:15	休憩		
16:10	～	16:40	0:30	中西和樹	豊田良順 東北大学	分子モーターを用いたDNA超らせんの光制御
16:40	～	17:10	0:30		金森主祥 京都大学	新しいシリコンの水溶液化学による多孔性ソフトマテリアルの創成
17:10	～	17:30	0:20	未来材料の将来展望(研究アドバイザー 太田裕道、 研究総括 陰山洋)		
17:30	～	17:35	0:05	諸連絡		

※予告なしに変更する場合があります

会場アクセス

新交通ゆりかもめ

「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

